

# 化学療法プロトコール

申請日： 令和 6年8月8日 申請医師： 熊谷 秀基  
診療科： 外科 癌腫： 胃がん  
実施区分： 入外共通

管理番号	C031713	レジメン名：【2回目以降】ゾルベツキシマブ+SOX(末梢用)(TS-1:80mg)
1コース期間	3週	総コース数

備考：

TS-1投与基準:BSA<1.25㎡…40mg/回1.25㎡≤BSA<1.5㎡…50mg/回1.5㎡≤BSA…60mg/回  
 ・CLDN18.2陽性かつHER2陰性の患者に投与する・場合によってはアモキシシリン注(H2ブロッカー)を制吐剤に追加、投与前日からオランザピンの内服を検討する(悪心・嘔吐対策)  
 ・オキサリプラチンによる急性の神経障害は投与後数日間に出現しやすい。また、遅発性の末梢神経障害は用量依存性である。Grade3以上で休薬。・オキサリプラチンによるアレルギー症状は初回投与時から出現しやすい。特に6コース以降注意。発現時間は投与30分以内が多い。・前コースでGrade4の骨髄抑制やGrade3以上の下痢出現時はTS-1やオキサリプラチンの1段階減量を考慮。

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	ピロイ	600 mg/㎡		自動	点滴	day1
2	オキサリプラチン	130 mg/㎡		自動	点滴	day1
3	ティーエスワン	80 mg/body		自動	内服	day1～day14

備考：

実施内容

<p>day1 処方 〈内服〉 臨時 〈4mg〉 テカドロン錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 2日 〈内服〉 臨時 ティーエスワン 80 mg/body 朝 夕 食後30分 14日</p> <p>注射 〈1〉 点滴 セイヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 〈2〉 点滴 パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL「タイク」 1袋 アトリス点滴静注235mg/10mL 1瓶 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ホラミン注5mg(1mL) 1A ☆30分で点滴 〈3〉 点滴 ピロイ 600 mg/㎡ セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 チウシヨクスイ 100mL 1瓶 ★★投与に関する注意★★ ★調製後、投与前まで冷所保存 ★フィルター付輸液セットを使用 ★2時間以上かけて点滴 ★50mL/hで1時間投与 ★その後、30分毎に50mL/hずつ速度UP可 ★最大投与速度200mL/h ★悪心・嘔吐で中断後、再開は1段階遅くする ★★調製に関する注意★★ ★注射用水はピロイ溶解用(1v5mL) ★生食で2mg/mLに希釈する(10倍希釈)詳細は表を参照 ★BSA1.9m<sup>2</sup>以上の際は追加の生食を薬剤科でオーダー可 〈4〉 点滴 オキサリプラチン 130 mg/㎡ 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ブドウ糖注 5%《500mL》 1袋 ☆2時間で点滴</p>	
--	--